



山上り(初老賀式) 南里地区

平成29年度一般会計予算修正案 **可決**

役場空調システムリース料削除

2～5p

臨時議会 補正予算 **可決**

ふるさと納税 予想を大きく上回る！

7p

条例の制定

・志免町長給与減額 **否決**

条例の改正

・敬老金見直し案 **否決**

・水道事業給水条例の改正 **可決**

8～9p

3月
定例会

わが町の再発見

あが
～山上り(初老賀)行事～



厄払い
参加者みなでからつてやるよ
南里地区では、古くから伝わる行事として、桜の花の下で住民相互の親睦と健康長寿を願う祭りとして『山上り』があります。
祭りと併せて当年に厄年(男子の40歳・今年は昭和52年生まれ)を迎える方の厄払いを行い、参加者で少しずつ厄をからつてやる行事が行われています。
稲永克彦さん(昭和52年生まれ)にインタビュー。

Q 感想はいかがですか。
A 子どもの頃から、この行事に参加し、当り前みたいに馴染んでいた。
厄年を迎え、改めて地域の人たちに見守られてきた価値がわかり、大変うれしい。



お知らせ

傍聴に是非お越しく下さい。

次回の定例会は
6月2日予定

議会傍聴は、町民が町政に参加する機会の一つです。
ぜひお越しください。車椅子席もあります。
詳細は議会事務局までお問い合わせください。

TEL 935-1262 FAX 935-7070

議会事務局は町役場4階です

メールアドレス: gikai@town.shime.lg.jp

【議会広報特別委員会】

寺田 秀和	吉田 大作	野上 順子	丸山 真智子	委員 近藤 辰也	副委員長 牟田口 武史	委員長 大西 勇 議長	発行責任者
-------	-------	-------	--------	----------	-------------	-------------	-------

2年連続、当初予算を修正

平成29年度一般会計125億5900万円から **737万円** (役場空調システムリース料) 削除

125億5163万円 可決

737万円 (役場空調システムリース料) 削除

3月
定例会

3月定例会は、3日から23日まで21日間の予定でしたが、予算委員会審議延長により、24日までの22日間、開かれました。
議案22件を可決、3件を否決、意見書1件を否決。人事案件1件に同意。
一般質問は3月6日、7日、8日の3日間で10人が行いました。

修正動議提出
予算常任委員会（古庄信一郎委員長）で※債務負担行為の「空調システムリース料」限度額3億3164万円（期間平成29年度契約締結の日から15年間）を削除し、これにより29年度システムリース料737万円を

修正動議提出

予算常任委員会（古庄信一郎委員長）で※債務負担行為の「空調システムリース料」限度額3億3164万円（期間平成29年度契約締結の日から15年間）を削除し、これにより29年度システムリース料737万円を

削除する修正動議が提出され、賛成多数で可決しました。

修正の理由

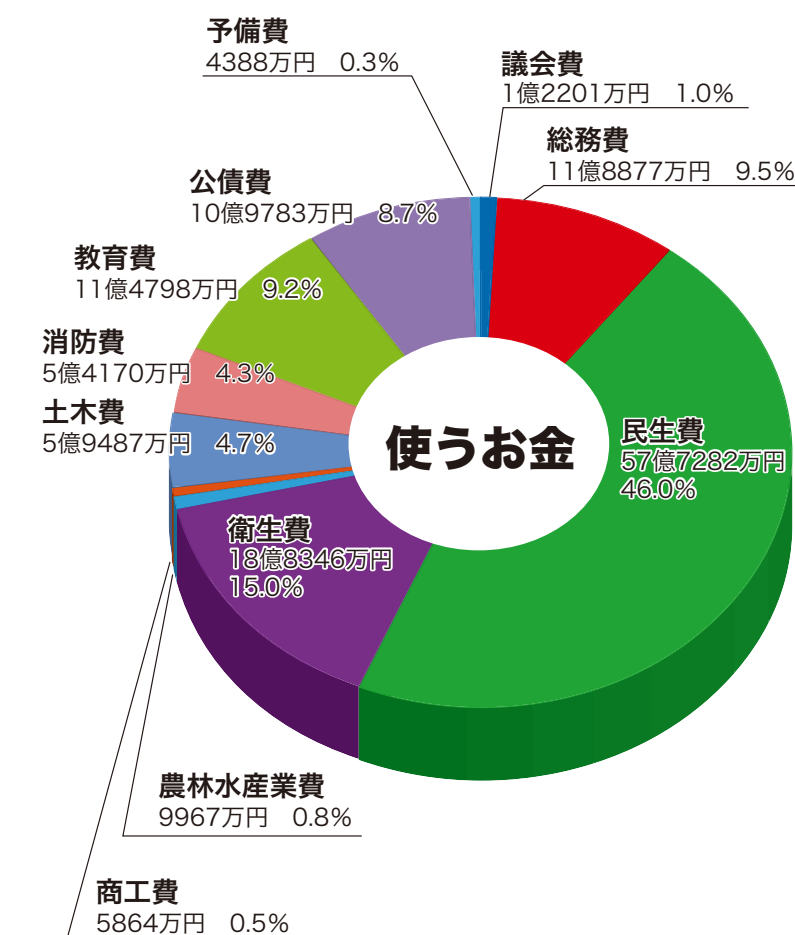
- ・説明の内容が乏しい。
- ・ベースの根拠がない。
- ・地元業者を大切にしない配慮がない等々。

※債務負担行為とは

1つの事業や事務が単年度で終了せずに、後年度においても「負担」支出をしなければならない場合には、議会の議決を経てその期間と額を確定するものです。

（委員長からの指摘）

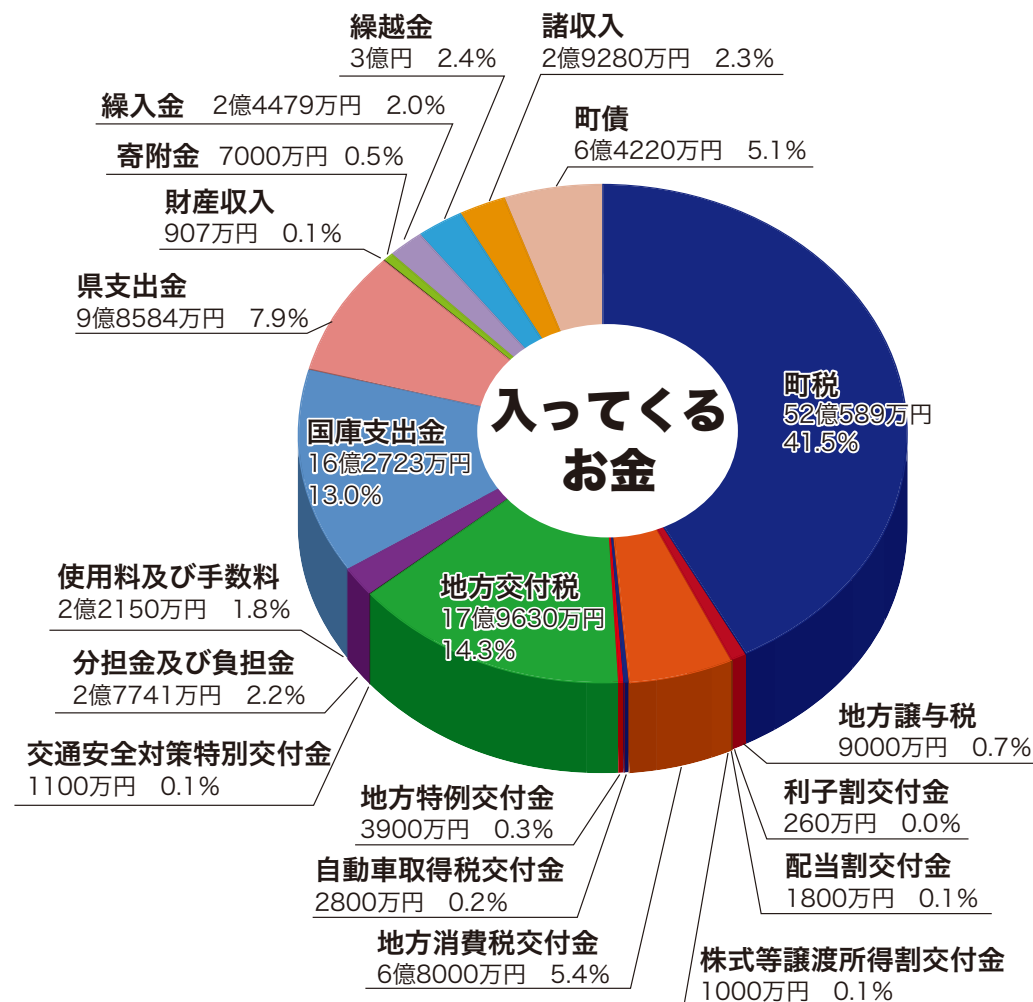
予算の説明不足等により、議会による予算修正など、近年にない問題が発生している。課内でチェックしておけば解ることであり、反省をさせていただきたい。



総務費
志免町おうえん基金積立金（ふるさと納税関連）
前年度より 9083万円増

消防費
消防自動車購入、消防団格納庫新築工事など
前年度より 4836万円増

教育費
総合公園野球場の改修工事など 前年度より 8300万円増



町税は5年連続で増収 前年度より2億1968万円増
地方交付税 前年度より1億6874万円減
基金の取り崩し 前年度より7177万円減

平成29年度 当初予算 特別会計

- ・住宅新築資金 1273万円(全員賛成可決)
- ・国民健康保険 53億9700万円(全員賛成可決)
- ・後期高齢者医療 5億5770万円(賛成多数可決)

平成29年度 公営企業会計

- ・水道事業 12億2580万円(全員賛成可決)
- ・流域関連公共下水道 11億7521万円(全員賛成可決)

拡大

情報化推進事業

● 2億 297 万円

個人番号カードを利用して全国のコンビニ等で住民票、印鑑登録証明書等を取得できるシステムを構築し、平成 30 年 1 月より実施予定。2428 万円等々

自主防災組織活動支援事業

● 349 万円

防災指導員の雇用（259 万円）による増

債務負担行為

広域ごみ処理施設事業費負担金（平成 30 年度から平成 34 年度まで）

● 17 億 1017 万円

- ・維持管理費 15 億 2436 万円
- ・その他（地元要望工事） 6820 万円

広域ごみ処理施設周辺対策協力金（平成 30 年度から平成 34 年度まで）

● 3000 万円

ゴミ処理の 5 年延長に伴い、「クリーンパークわかすぎ」の地元協力金として毎年 600 万円を 5 年間支払うもの。



クリーンパークわかすぎ

補助金の増額

社会福祉協議会運営補助事業

● 4927 万円

（前年度より 243 万円増）

産休育休職員復職による人件費増及び役員改選による役員活動費増のため。

シルバー人材センター運営補助事業

● 1016 万円

県補助金交付終了により、町の補助金を増額するため。

賛成討論 丸山真智子議員
堅坑櫓はワインディングタワー型で世界に現存するのは 3 ケ所だけで産業、技術史上貴重な遺産である。また、昭和の産業遺産であり、子どもたちが誇りに思う教育遺産でもある。ふるさと納税総額のうち 1818 万円が文化財の活用を希望。
地方創生総合戦略の堅坑櫓を中心とした交流型産業の創出には、この予算が必要。

賛成討論 古庄信一郎議員
堅坑櫓を保存する町の PR ビデオの効果で、八千数百万円のふるさと納税も実現。子供たちも「櫓は町の宝、絶対に残して」と大きな声を挙げています。櫓下では色んなイベントも開催。勝田線廃止での議会対応を教訓に、先人の残してくれた宝を将来の町づくり、町の収入増の柱として、議会も建設的に考えるべき。

29 年度当初予算・主な事業

新規

町政 80 周年記念事業

● 140 万円

平成 31 年 4 月に迎える町制 80 周年の記念イベントを行う準備のため。志免町マスコットキャラクターの作成など。

高齢者保健福祉計画策定事業

● 321 万円

平成 30 年～ 32 年の計画を策定するもの。

堅坑櫓保存管理事業

● 2562 万円

● 4 カ年総額 6 億 6541 万円

（国・県支出金）	3 億 3222 万円
（地方債）	1 億 8000 万円
（志免町おうえん寄付金）	9290 万円
（一般財源）	6028 万円

平成 29 年度～平成 32 年度の 4 カ年事業（継続費）



国重要文化財堅坑櫓

反対討論 末藤 省三議員
社会保障や医療及び介護など負担増、給付削減を次々と迫るものとなっている。年金減額を始め、老人の孤独死は昨年から多く見受けられる。その反面、堅坑櫓保存に 6 億 6 千万円。警固断層につづき宇美断層と日向峠断層による耐震調査。住民の声を十分に聞いて対応。将来的活用計画を住民に示すべき。

反対討論 助村千代子議員
一般会計予算はおおむね評価はするが、堅坑櫓保存管理事業継続費 6 億 6 千 500 万円で保存工事を行う。保存には賛否両論。社会保障費、公共施設の更新、起債償還、基金取り崩しと厳しい財政が試算されている。国の重要文化財といえども、多額の予算をかけ、将来に負担を残さないと言えるのか。不安と疑問を感じる。

臨時会

平成 29 年 2 月 17 日開催

ふるさと納税 6540 万円増額

寄附の状況
(平成 29 年 1 月 31 日現在)
寄附件数 七万五四三八件
寄附額 六一九四万円
寄附額が大幅に急増した主な点は、28 年 12 月 9 日よりサイトでは日本最大手の楽天ふるさと納税に参加した事
全員賛成 可決

・平成 28 年度一般会計補正予算
志免町おうえん寄附金で、12 月に予算を大きく上回る寄附があったことから、予算を増額し、本事業の一層の推進を図るもの。
当初予算額四六〇万円に六五四〇万円を増額し、積立金を七〇〇〇万円にするものです。

寄附の詳細

(H29.1 月末現在)

寄附用途	寄附金額 (万円)	割合(%)
① 将来を担う子どもたちの教育環境整備に関する事業	1,645	26.6
② 歴史的資料や文化財の保護、活用に関する事業	1,818	29.3
③ 安全に配慮した社会基盤の整備に関する事業	167	2.7
④ 地域の活性化に関する事業	522	8.4
⑤ 自然環境の保護や景観づくりに関する事業	456	7.3
⑥ 健康増進と福祉の向上に関する事業	329	5.3
その他目的達成のために町長が必要と認める事業	1,134	18.4
※ともにともそうプロジェクト	123	2.0
合 計	6,194	100



ふるさと納税返礼品



マンホールふた交換工事

・平成 28 年度流域関連公共下水道事業会計補正予算
桜丘地区の下水道管の更正やマンホールふたの交換工事の入札差金により交付金に残額が生じたため、29 年に予定していた事業の一部を前倒しして実施するもの
下水道事業費 269 万円増
全員賛成 可決

平成28年度補正予算

一般会計

2854 万円減額 総額 133 億 2333 万円

賛成多数で可決 (賛成 10: 反対 1)

補正の主なもの

歳入

- 町税
 - ・法人税
 - ・固定資産税
 個人町民税所得割・法人町民税法人税割・固定資産税(償却資産)などの増
2 億 6000 万円増
1 億 9000 万円増
7000 万円増
- 児童手当 国庫負担金
児童手当で対象児童数が見込みより減
3790 万円減
- 臨時福祉給付金事業費補助金
1733 万円減
- 児童手当 県負担金
610 万円減
- 繰入金
1 億 8700 万円減
- 諸収入
宇美町・志免町衛生施設組合負担金 887 万円増
887 万円増
- 町債
小中学校エアコン設置の国の補助額が増加したため
9680 万円減

歳出

- 障害者自立支援給付費
居宅介護等は減少、グループホームと施設通所が増加したため。
1404 万円増
- 臨時福祉給付金
申請者が少なかったため。
1733 万円減
- 宇美町・志免町衛生施設組合負担金
繰越金増、負担金減、資源物売却収入増、点検修繕料減などのため。
1049 万円減
- 粕屋南部消防組合負担金
負担金減
1205 万円減
- 志免宇美線整備事業負担金
事業の遅れのため。
1300 万円減

例

町の憲法

条

第3号議案審査特別委員会(全員) 志免町長の給与月額の減額に関する条例の制定

平成29年4月1日より31年4月30日までの間、町長の給与を給与月額から10%削減する。

賛成少数否決

反対討論 二宮美津代 議員

志免町特別職給与等審議会条例で町長の給与等の額に関する条例を議会に提案するときには、審議会の意見を聞き、結果について答申を受けるものとなっている。なぜ審議会に諮問しなかったのか。額が妥当であるかなど提案が、唐突である。減額による手法ではなく、政策を通じ、結果を出していただく事が大事。

志免町特別職の職員で臨時又は非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例等の一部改正する条例の制定

福岡県外へ出張した場合日当として一夜につき3300円支給されている。これを廃止する。

賛成少数否決

志免町職員の勤務時間・休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定

介護を行う職員の超過勤務の免除
養子縁組里親を本条例に規定・条ずれ等用語整理。

公布の日から施行・29年1月1日より適用

全員賛成可決

志免町税条例等の一部を改正する条例の制定

- ①法人税割の税率の引き下げ
- ②軽自動車税関係は自動車取得税の廃止と環境性能割の創設。どちらも平成31年10月1日まで延期。
グリーン化特例の見直しは一年間延長。
公布の日から施行

賛成多数可決

志免町敬老金の支給に関する条例の一部を改正する条例

現下の厳しい財政状況及び財政健全化を推進する取組等を勘案し支給の見直しを行う。
支給対象者の80歳・90歳を削る。101歳以上の支給額を三万円を一万円に変更する。

賛成少数否決



水道料金見直し

①基本水量見直し

基本水量 10m³/月 (20m³/2ヵ月) → 0m³/月

②基本料金見直し

一般(家庭用) 基本料金 1,380円/月(税抜) → 1,300円/月(税抜)

共用栓 1,380円/月(税抜) → 650円/月(税抜)

③従量料金見直し

使用水量 10m³まで/月

一般(家庭用) 0円/m³(税抜) → 8円/m³(税抜)

共用栓 0円/m³(税抜) → 73円/m³(税抜)

志免町水道事業給水条例の一部を改正する条例

水道料金の区分を2区分から、家事用、共用栓用、事業用の3区分にし、家事用共用栓用の基本水量の見直しと支払い方法についての見直し。

賛成多数可決

施行日は平成29年4月1日

町の重要な課題

(太字は委員会の要望、要請)

総務文教常任委員会

保育園民営化と保育行政・学童保育について 亀山保育園民営化へ

45年が経過、老朽化と耐震性が担保されていない為、園舎の建てかえが必要。町が建てかえた場合、国の保育所設備交付金の対象外となるため、民間に移譲し、社会福祉法人が、補助を受け建てかえる方法をとる。

残り2園について町長より「東保育園も古く建てかえが必要。東地区体育館等も含め先を見据えた計画をたてたい。将来的には一園は町立で残したい」との答弁。

委員より、前回民営化した時の課題や民営化することのメリット、デメリットを明確にするべきとの意見がだされた。

学童保育の待機児童が多く、大変な事態に

4月からの学童状況は定数420名に対し待機児童が140名でるとの事。支援員がやめたのが原因で支援員確保の緊急対策として、給与の改善、求人広告などをし、採用手続ができれば入所決定を通知するとの事。

委員より4年生以上を受け入れる件も聞いていない。場所の確保もできていない。大丈夫なのか。親から不安の声もあがっている。実態の大変さがわかっていのかと、厳しく指摘をし、最善を尽くすよう要請。

3月1日の報告で3年生まで全員はいれたとの事。委員会に学童保育連合会会長・副会長を参考人として呼び意見をうかがった。役員の大変さ、なり手のない状況、支援員や事務局のあり方等意見がだされ、早急な解決や対策を強く要

厚生建設常任委員会

地域包括ケアシステム 在宅医療の推進 にのさかクリニック 院長の講演会開催

2月19日には多職種連携を兼ねた住民啓発講演会を開催し、にのさかクリニックの二ノ坂院長の在宅医療を支えるチームの連携のお話があり、221名の参加があった。

また、福祉推進委員の地域の見守り活動の紹介では参加者から志免町をみんなで助け合う地域にしたいなどの感想があったとのこと。



地域宅括ケアをみんなで作ろう(講演会)

認知症施策の推進 「認知症初期集中支援チーム」29年度稼働予定

認知症の方や家族に早期に関わることで、早期診断・早期対応に向けた支援を行う認知症初期集中支援チーム設置の準備を進めているが、チームの活動状況及び初期支援事業の評価検討等を行う検討委員会を設置し、第1回の協議を行ったとのこと。

認知症になっても住み慣れた地域で生活できるように、認知症に対する理解と知識の啓発を行い、認知症サポーター養成にも力を入れていくようにとの意見が出た。

住民主体のサービス 生活支援コーディネイターを担うのは 社会福祉協議会

住民主体のサービス提供

望された。今後問題点を拾い出し、議会、行政学童連合会がしっかりと話しあい進めていく必要を確認した。

まちづくり支援室の現状と課題について

運営委託業者であるNPO法人ミディエイドから、取り組みや現状の説明を受けた。委員より支援室のあり方、場所、利用時間、登録制度など多くの質問がだされた。



町づくり支援室視察

の体制構築については第9回目の住民交流会で協議体を立ち上げる予定で、参加を呼びかけている。

生活支援コーディネーターを担う社協と町、協議体に参加される住民と共に構築を進めている。

障害児通所支援 各サービスの利用 者が増加

障害児通所支援の利用状況について、ひと月の利用状況の3年間の推移について説明を受けた。

児童発達支援(パワフルキッズ)については平成26年11月の利用者が60名、平成27年が70名、平成28年が82名と増加。

一人当たりの利用日数は減少傾向にある。

保育所等訪問については平成26年11月の利用者が29名、平成27年が46名、平成28年が68名と増加。一人あたりの利用日数も増加傾向にある。

小・中学校エアコン設置について

空調設備運用指針(案)・空調設備更新計画(案)が出された。

報告事項として、小学校講師が暴力により逮捕された案件について説明を受けた。

緊急保護者会を開き説明。

子ども達への対応として、県のスクールカウンセラー、スーパードバイザー等を学校に派遣。

委員会としては事件に誤った報道もあり、マスコミ対応ができていない、新聞社やマスコミに抗議すべきと要望。

両方とも主に柚の木福祉会の利用だが、利用者の増加により、児童発達支援の一人当たりの日数が減少するため、今後は保育所等訪問を充実させていきたいとのこと。

放課後デイサービスについては平成26年11月の利用者が46名、平成27年が65名、平成28年が87名と増加。

一人当たりの利用日数も増加傾向にある。

提供する事業所が柚の木福祉会のPK2を含めて平成26年11月が11事業所だったものが、平成28年には28事業所の利用があり、その影響で粕屋地区の事業所だけでなく、福岡市、大野城市、福津市などの事業所も利用され、そのニーズの大きさが実感されるとのこと。

委員より、ニーズの増加に伴い参入業者が増加しているため、サービスの質の低下にならないように要望した。

3月定例会賛否結果表

議案名	採決結果	近藤辰也	寺田秀和	牟田口武史	安河内信宏	吉田大作	助村千代子	野上順子	丸山真智子	牛房良嗣	古庄信一郎	二宮美津代	大林弘明	末藤省三
○⇒賛成 ●⇒反対 －⇒退席 欠⇒欠席														
志免町長の給料月額の減額に関する条例の制定について	否決	欠席	○	●	●	○	●	●	○	●	●	●	欠席	○
志免町特別職の職員で臨時又は非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	否決	欠席	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	欠席	○
志免町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
志免町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
志免町個人情報保護条例及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	●
志免町税条例等の一部を改正する条例の制定について	可決	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	●
志免町敬老金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	否決	欠席	○	●	○	●	○	●	○	○	●	●	欠席	●
志免町青少年問題協議会設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
志免町水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
志免町水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	可決	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	欠席	○
志免町下水道条例の一部を改正する条例の制定について	可決	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
志免町道路線の認定について	可決	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
志免町道路線の変更について	可決	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
平成28年度志免町一般会計補正予算(第5号)	可決	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	●
平成28年度志免町国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	可決	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
平成28年度志免町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
平成28年度志免町水道事業会計補正予算(第2号)	可決	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
平成28年度志免町流域関連公共下水道事業会計補正予算(第3号)	可決	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
平成28年度志免町公共施設公益施設整備拡充基金特別会計予算	可決	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
平成29年度志免町一般会計予算(修正)	可決	欠席	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	欠席	●
平成29年度志免町一般会計予算(修正部分を除く)	可決	欠席	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	欠席	●
平成29年度志免町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	可決	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
平成29年度志免町国民健康保険特別会計予算	可決	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
平成29年度志免町後期高齢者医療特別会計予算	可決	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	●
平成29年度志免町水道事業会計予算	可決	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
平成29年度志免町流域関連公共下水道事業会計予算	可決	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○
固定資産評価審査委員会委員の選任について	賛成多数で同意													
子どもの新たな医療費助成制度を創設し、国民健康保険の国庫負担減額調整措置の廃止を求める意見書	不採択	欠席	○	●	●	●	●	●	●	○	●	●	欠席	○

※議長は採決に加わらない。

意見書

提出者 末藤省三 議員

子どもの新たな医療費助成制度を創設するとともに、子どもの医療費助成など地方単独の事業に対する、国民健康保険の国庫負担減額調整措置の廃止を求める

賛成少数 否決

議会運営委員会

3月定例会について

会期は3月3日から23日までの21日間。(※予算常任委員会の審査の都合により、1日会期が延期され22日間に変更)

議案は26議案が提案され、報告が1件。

最終日に人事案件の固定資産評価審査委員1名選任が提出される。

また、請願と陳情はなく、意見書が1件提出予定。

3月17日に全員協議会が開催される予定で、協議事項は議会報告会についてです。

志免炭鉱ぼた山対策特別委員会

自然活用型ぼた山開発の平成28年度測量業務について

2月20日に委員会を開催し、国鉄志免炭鉱ぼた山開発推進協議会の志免、須恵、粕屋の3町長による協議内容の報告を受けた。

昨年7月の協議会総会で承認された自然活用型ぼた山開発の平成28年度の事業としての「測量業務」について、測量と設計を同時に行う方が安価との理由で、28年度には行わないとのこと。

総会で決定したことを、町長と事務局だけで話し合っ変更することでもいいのかとの意見が出た。

福岡都市圏広域行政調査特別委員会

今後も継続していく提案事項として

・上下水道事業の将来的な統合・合併。

・須恵スマートインターから伸びる宇美への道路整備、志免への道路整備。

・し尿処理場、最終処分場の共同利用。

・広域の防災計画の連携。

・災害時の対応として、相互応援する基本協定がある、不足がないか調査研究。

・バス運行について、時刻表やバス停の歩み寄りを協議検討。

・婚活について三町広域の合同開催を提案。

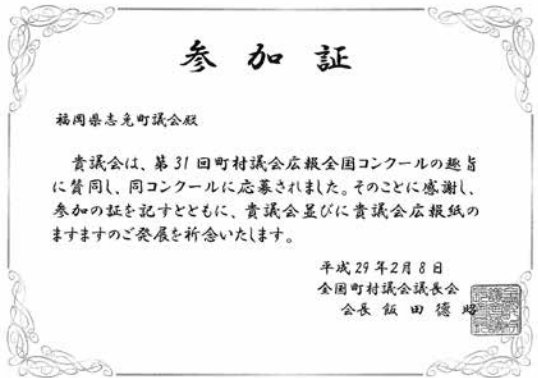
今後の委員会のあり方については決定権がないので各町所管委員会を通じて、執行部へ政策提言・提案を行う。

広報特別委員会

コンクールに応募

第31回町村議会広報全国コンクールに「しめ議会だより第78号」を応募して審査の結果が出た。

指摘をされた点を見直し、読者のみなさんにわかりやすい広報づくりをめざしたい。





吉田 大作 議員

福祉巡回バスの利用について 答弁／お気づきの点は改善していく

吉田 福祉巡回バスの意図目的は。

福祉課長 福祉施設利用の利便性を高めるため。

吉田 約一ヶ月かけて、福祉巡回バスに全便乗ってみた。

町長、課長は乗られた事はあるか。

福祉課長 何コースかは乗った。

町長 この3、4年の間に2回ほど乗った。

吉田 バスを利用される方の声は届いているのか。

福祉課長 電話やアンケート、町内会などの要望、町長の出前トークで伺っている。

吉田 便に寄っての利用者の数のチェックは。

福祉課長 コースごとに利用者の人数を集計し、把握している。

吉田 バスの運行表とか時刻表などバスに関する案内はどうなっているのか。

福祉課長 ホームページや、福祉課の窓口、シート等に置いてある。

吉田 バスの案内の館内放送、シートでは、やっているが望山荘では、やっていないが。

町長 望山荘でも放送して

いきたい。

吉田 よく停車する、本数の多いバス停は色分けもされ見やすいが、本数が少ないバス停は非常に見にくい、見やすさの徹底を。

福祉課長 徐々に段階的に改善して行きたい。

吉田 バス利用者の方で巡回バスに乗るまで、無料と知らなかった方がいらっしやった。

町長 マンネリ化しているのか、ぜひ改善していきたい。

吉田 福祉巡回バスを買い物に利用されている方がおられる。

町長 巡回バスは、病院・銀行・保育園・ファミレス・ドラッグストア・郵便局の前にも



福祉巡回バスとバス停



停まる。使いようによっては非常に便利だと思うが。

町長 自由に使われて良いと思う。

吉田 高齢者の免許返納も含め、バスの果たす役割は大きくなる。

一人でも多くの方に利用して頂きたい。

ズバリ町政を問う

吉田 大作 議員 ————— 15P

①福祉巡回バスの利用について

二宮美津代 議員 ————— 16P

①子育て世代包括支援センターを
②学校にフッ化物洗口の導入経緯

牛房 良嗣 議員 ————— 17P

①中学の学力低迷を突破せよ
②譲りあい常設センターの設置を

丸山真智子 議員 ————— 18P

①土地開発や民間活用で税収増を
②町のイメージアップを図るには

寺田 秀和 議員 ————— 19P

①消防団員の認知度と好感度
②生活道路も幹線道路の抜け道

野上 順子 議員 ————— 20P

①特別支援学校の子も町の子か
②自主防災組織で障害の子も守る

牟田口武史 議員 ————— 21P

①学校教育の現状と対応

助村千代子 議員 ————— 22P

①ごみの資源化で循環型社会構築
②見守り活動の基盤整備が不可欠

古庄信一郎 議員 ————— 23P

①一般質問後の対応の共有化を
②広報はお知らせ型から対話型へ

末藤 省三 議員 ————— 24P

①年金カットをどう考えるか
②入学準備金制度は入学前に

会議録に基づき議員個々の自由編集で掲載しております。
詳細は会議録（HP・図書館・各公民館に置く）をご参照ください。掲載は質問順としています。

一般質問とは議員が町政全般（一般事務・事務の執行状況・将来に対する方針など）について、町長など執行機関の考えを議員個人として聞いたことです。
質問の内容は事前に通告し、持ち時間30分の範囲内で※1問1答で行います。
※質疑、答弁を理解するまで繰り返す方法

※桜は志免町花です



牛房 良嗣 議員

中学の「学力低迷」を突破せよ 答弁／教師の授業力向上で成果を

牛房 中3の全国学力テストが平成26年から3年間も全国平均に及ばない。原因は何か、向上への対策は。

教育長 昨年度より今年度は伸びている。教師の授業力の向上、子どもたちの自尊心を高める教育を実施していく。

学校教育課参事 具体的には志免町全教職員250名に対し、年間70回の研修と、先生1人1人に対し個別に

牛房 中学卒業の先輩からの制服、学用品のプレゼント制度の進捗状況は。

教育長 学校・PTAなどで独自の方法で制服・学用品の譲りあいが行われている。

譲りあい常設センターの設置を

答弁／考える

牛房 今後感謝の心を育むため、各団体に働きかけたい。

牛房 2中学校在校生1300人、今春の入学予定480人、譲りあいのニーズは高い。出きれば現状の個別の対

指導、支援をしていく。

牛房 学力調査表によれば国語、数学の授業が分らない、ついていけない子どもが30%もいる。この子どもたちに学習の意欲を失わず前向きな気持ちで学習に取組ませるためにどうしたらいいか。

1人の落伍者も出さず子どもたちの夢が実現できる教育体制の構築を切望する。

このためにはすべて学校任せだけでなく家庭学習、

町長 学校への支援は他町に負けないほど手厚くしているし、これからも続ける。

教育長 学校で一番大事なことは今日はこれができた、これが分った、次の勉強が楽しみとなるような授業づくりを教師が行うことだ。

町長 学校への支援は他町に負けないほど手厚くしているし、これからも続ける。



志免中学校

応からNPO法人などによる常設のセンターを設置し利用者の便宜を、行政指導で実現して頂きたい。

町長 PTA等が主導して行っている学校もある。広い範囲で何かできればと考えている。



二宮 美津代 議員

子育て世代包括支援センターを 答弁／スピーディーに取り組む

二宮 子育て世代に選ばれるまちとして、総合戦略で子どもを産み育てやすい環境整備の充実を謳っている。

具体的事業で子育て世代包括支援センターの設置があげられているが。

健康課長 関係する課（健康・子育て支援・経営企画）で協議。新しく施設は作らず、人材配置による連携体制の構築を行う。

二宮 妊娠期から子育て期にわたる支援拠点として、庁舎一階に窓口を置き、センターの看板を上げる方策など手立はあると思うが。

町長 一つの場所で包括的に行う方がよいことは理解している。研究を行う。

二宮 総合戦略は5ヶ年計画。ビジョン策定から2年目、やるかやらないか、トツプの判断では。

町長 早い時期にやるべく、再三打ち合わせを行っている。

二宮 委員会で先進自治体と和光市の視察もしている。志免町としてのやり方を

考え研修を生かすべき。色々な取り組みがされ、センター開設の素地は出来ている。

町長 できることはしっかりとスピーディーに行っていきたい。



志免町総合戦略8Pより

学校にフッ化物洗口の導入経緯 答弁／郡歯科医師会の推奨

二宮 フッ化物洗口とは。

学校教育課長 フッ化物を低濃度で用い週一回うがいをして虫歯を予防する。

二宮 集団洗口の問題点は。

学校教育課長 科学的根拠に基づき虫歯予防で安全。

二宮 フッ化ナトリウムは劇薬で希釈して使用するが、管理上の問題や誤飲、洗口後の使用資材の処理など課題がある。調査はされたか。

教育長 安全という上で使用。問題等が出ればそれをもとに対応する。

二宮 洗口を行って改善された明確な根拠もなく、アレルギーの臨床実験もない。

集団でなくフッ素塗布や歯みがきを個々ですべきでは。

今後全小学校に広げるのか。

町長 郡の町長会で、郡歯科医師会から推奨された。しっかり検証し判断したい。



寺田 秀和 議員

消防団員の認知度と好感度

答弁／開かれた消防団を目指す

寺田 消防団は、常備消防団の職と異なり、災害時など非常勤消防機関として出動すると特別職の地方公務員であることが住民の皆に十分理解されていない。

生活安全課長 操法大会や防火演習、ホームページ、町民運動会で地域に根差し町民に消防団のPRを行っている。

寺田 消防団勧誘が来れば、調べたりするので、ホームページに消防団のコメントや意見をのせ志免町消防

団のイメージを紹介しては。

生活安全課長 町長日記や写真を載せ、SNSを介して回覧している。

寺田 志免町でも若い世代の方に伝わりやすく、消防団突撃体験をホームページに記載しては。

生活安全課長 今後開かれた消防団を目指し、検討していく。

寺田 役場の中にあるテレ

地に消防団の活躍を紹介し、皆さんにクリーンなイメージを出しては。

生活安全課長 役場の1階にテレビがあり、担当課と協議調整し、可能であれば行いたい。

寺田 女性消防団は全国で1万7000人の女性団員が活躍して、広報活動、PR活動、老人宅を訪問、防



消防団募集ポスター（総務省）

生活道路も幹線道路の抜け道

答弁／歩行者の安全確保に努める

寺田 福岡東環状線が開通し大差点が渋滞し抜け道として生活道路も利用されている。

町長 事故が起きる前の対策をしていく。

寺田 68号線の交差点に歩行者分離信号機や視覚障害者に対して音の出る信号機

をふやしては。

町長 現場を確認し県警や県にお願ひしその方向で進めていく。



丸山 真智子 議員

土地開発や民間活用で税収増を

答弁／厳しい状況、民活は検討したい

丸山 堅坑櫓周辺の土地は市街化調整区域だが、外すために何か動きはあっているのか。

都市整備課長 県と協議を重ねたところ、町が編入の案を適正に成立させれば編入は可能とのこと。

現在、事務を進めている。

丸山 税収を増やす発想が必要。

例えば図書館や歴史資料館を建てるのも、民間が建てた中に入り、テナントで

収益を生み出す発想もある。

町長 民活の調査研究は行っていないが、調整区域を外した後、検討したい。

丸山 吉原地域の流通・工業地（マスタープラン）の

土地に企業誘致などの視点、動きはないのか。

町長 地権者を差しおいて、私どもが動くのは厳しい。

町のイメージアップを図るには

答弁／いろいろな所で町のPRをする

丸山 志免町で小学講師の傷害容疑、路上の強盗事件2件が続き、町のマイナスイメージにつながり心配。

世利町長のトップセールスについて伺う。

町長 いろんな所へ行つて町のPRもしていきたい。

丸山 職員が68Tシャツを着て役場のイメージを変えたらどうか。

堅坑櫓の寄附にもなる。

総務課長 町制80周年記念に向けてポロシャツのデザインを考えている。

丸山 イクボス（職場で共に働く部下の仕事と家庭の両立を考え、組織の業績も結果を出す上司）宣言に取り組んだらどうか。

町長 近隣の古賀市がしているので、よく調査したい。

丸山 住民団体の催しを支援強化し後押しすれば、町

の魅力アップにつながる。

まちの魅力推進課長 町の魅力発信や元気なまちづくりにつながるものは特別名義後援に認定している。

丸山 働き方改革と消費促進を目的に始まったプレミアムフライデーの取り組みは。

まちの魅力推進課長 商工会員の中でも賛否両論あり、動向をみたい。



多目的グラウンド（市街化調整区域）



牟田口 武史 議員

学校教育の現状と対応

答弁／能動的、主体的に対応する

牟田口 教職員の労働問題について、他の職業と比べて、特筆して長いとの発表。町内の学校の先生方については。

学級担当者、生徒指導担当等それぞれの研修会を行っている。必ず年2回か3回の研修を町内で受けている。

牟田口 先生方の研修会について質問だが、年70回の研修会があるそうだが。

学校教育課長 両中学とも毎週1日は休むようにしている。

学校教育課参事 10年に1度。

牟田口 教員免許について更新制度について、どのようになっているのか。

学校教育課参事 3年で何単位取りなさいという指示が出る。

牟田口 教育要綱が変わり部活の指導等、先生たちの苦労は大変。効率的に先生たちの資質向上をお願いしたい。

学校教育課参事 町内の小学校で英語の免許を5人の先生がもっている。

研修を通して英語の指導ができるような先生方をふやしている。

牟田口 学校の先生は粕屋地区で異動されるので粕屋地区として、レベルアップを考えていただきたい。

教育長 教科等別研修会を行っている。

次期の学習指導要領では情報教育が中心となる。子どもたちが指示まねではなく、能動的、主体的に



志免中央小学校

対応、考えを見つけ出して取り組んでいく。



野上 順子 議員

特別支援学校の子も町の子か

答弁／志免町の住民である

野上 特別支援学校に通う子どもが、地域の学校の授業や行事に参加する居住地校交流が大事と考えるが。

町長 地域に住み続けるには、交流は必要。今少しづつではあるができています。

野上 文部科学省も2012年から本格的に推進をしている。町の対応は。ジュニア春のワクワク講座が広報にのっていた。申し込み方法が学校で配布をされているとの事。

支援学校にも配布はできないのか。

まちの魅力推進課長 今までの流れでやってきた。今後は支援学校の事も勉強し方法等も研究していく。

野上 ちょっとした事がつながりになる。

学校の入学式に呼ぶと言う取り組みをしている所もある。

志免町では、機会ととらえていく事はあるのか。

学校教育課長 ないと思う。

野上 支援学校に通っている子どもには、志免町の子どもとしての対応はしないのか。

教育長 志免町の子どもである。地域との交流が薄れているとの指摘だと思う。今後支援学校との調整を

しながら、過去は受け入れた事例はある。

もっとスムーズに気軽に行ける関係作りや、情報交換が大事になってくると思う。

野上 町内会の行事にも支援学校の子どもがいける対策もとってほしい。

町長 支援学校に行っている子どもも、志免町の子どもである。

自主防災組織で障害の子も守る

答弁／自主防災組織に職員も入る

野上 色々な問題があり、自主防災組織がなかなか作れない。どうすればいいか。

生活安全課長 今後職員が町内会に入り、組織強化をはかっていく。

野上 防災に関しても支援

学校に通っている子どもは地域と触れあう事が少ない。

地域との結びつきがあれば安心である。

地域で子ども達を守る事を自主防災の中でお願いしたい。



特別支援学校

町内会長にも機会をとらえお願いしたい。



古庄 信一郎 議員

一般質問後の対応の共有化を 答弁／しっかり構築して行く

古庄 議会活動での一般質問に対し、前後の対応は。 **総務課長** 顛末整理簿作成、追いかけて調査他を実施。

古庄 それらが見えない。私の質問提言を例に伺う。 **今も裁判中だが町民と職員**の事件後、若い職員に対するマニュアル策定を要請、検討するとの回答だったが。

総務課長 不当要求行為等対応マニュアルがある。

古庄 しめ広報は、住民と行政との対話がより重要とされる地方自治の変革にともない、現在のお知らせ型広報から対話型になるべき。

町長 考え直す時期だ。

古庄 広報チェック体制は。

古庄 疑義に感じる掲載の代表事例は、議会による飲酒運転撲滅条例の制定情報、文化及び体育協会の行事紹介、商工会のシーメンブランプリ行事、5800万円のふるさと納税の紹介等が皆無に等しい。

まちの魅力推進課長 していない。



広報しめ

町長 良い勉強をした。今後しっかり、あり方等も検討し作り上げたい。

広報はお知らせ型から対話型へ 答弁／考え直す時期だ

これらの取扱いからも広報のあり方、感覚に疑問を感じる。

古庄 別次元のマニュアルを要請した訳で、次に職員町内会担当制の導入は。産業振興コーディネートの導入については。優良企業等の表彰制度の検討は。

まちの魅力推進課長 町内会連合会は必要ないとの回答。

産業振興はしていない。

古庄 これらの質問後のフォロー結果は何も聞いていない。

表彰制度は現時点では困難。

古庄 公民館建て替えシミュレーションの策定は。歴史資料館の研究は。

社会教育課長 いずれもそこまでには至っていない。

町長 今後しっかりと構築して行きたい。

大事なのはその後の経緯、ステップをお互い共有することで、時系列的に共有するシステムを作るべき。

でないと一般質問は形骸化し、議員はパフォーマンスだけになる。



助村 千代子 議員

ごみの資源化で循環型社会構築 答弁／できる事を進めたい

助村 近年ごみの排出量が増えている。さらにごみ減量の啓発やリサイクル等を積極的に推進する必要があると思うが。

生活安全課長 生ごみの水切りの徹底、資源回収協力をお願い等啓発を行っている、一方で燃えるごみの排出量が増えているが、事業所、店舗等の増加にも要因がある。

イクルで固形燃料、土壌改良材、建材の資材に再生される。紙おむつのリサイクルシステムも構築されている。わが町も取り組みを。

町長 紙おむつの再資源化は、処理料が高いが、先進自治体で取り組みが行われているのであれば、量が多いほうが処理料も安くなる。

循環型社会を構築する上では、必要ではないかと考える。

助村 限りなくごみをゼロにして、循環型の町を目指すよう考えていただきたい。

町長 子どもたちにツケを残さない、地球温暖化を含めて、大切な取り組み。できることは進めていきたい。



役場裏リサイクルボックス

見守り活動の基盤整備が不可欠 答弁／充実を図っていききたい

助村 地域包括ケアシステムでは、見守り等の生活支援が高齢者を支える重要な取り組みと位置づけられている。災害時要援護者支援登録の状況は。

生活安全課長 名簿を作成し、個別計画を作成中。名簿掲載者は46人。日頃からの地域の見守り活動が災害時に非常に有効。

助村 高齢者の不同意式名簿の町内会での活用は。

生活安全課長 町内会等に意向を聞き、現在10町内会と社会福祉協議会に提供している。

助村 見守り活動の意義や組織の作り方、具体的な方策や事例、法に沿った個人情報取り扱いなどのガイドブックはできないのか。

生活安全課長 ガイドブックも含めて、意義や事例の提供を行う事が行政の役割と考えている。

追跡 あん質問は どうなったの？

危険廃屋の 撤去について

空き家問題は、放っておけば今以上に難しくなる。

危険廃屋の周辺の方は緊急事態が何年も続いている。(H27年6月)



以前から危険廃屋の一つであった空き家について、空き家の相続人と町との協議により、平成29年1月に危険廃屋を解体していただいた。

引き続き、空き家問題については粘り強く取り組んでいく。



かすや中南部広域 消費者センター(大的交差点・ 志免交番2F)相談受付時間

他市町では受付時間も長く、昼休みなしで相談を受け付けているが、昼休みも受け付けてはどうか。(H28年9月)



平成29年度より、昼休みを無くして相談を受け付ける。



末藤 省三 議員

年金カットをどう考えるか 答弁／大きく影響を受けると考える

末藤 国会では年金カット法案が強行採択され、これによって年金が際限なくカットされて新たな仕組みが導入された。
マクロ経済スライドの調整が長期化し、年金がさらに下がるのを防ぐ、いわば下げどまりとするのが、将来確保の本当の意味になっている。
賃金マイナススライドが導入されれば、引き下げられた水準の年金が将来世代に引き継がれる。
高齢者を扶養し、生活や

介護の支援をしている現役世代にとつては、ダブルパンチが襲いかかる。
増税で物価は大幅に上がるのに、年金は逆に下がる。高齢者にとつて悪夢のような事態が起こる。
さらに、年金積立金管理運用独立行政法人GPIFの組織再編が盛り込まれて、年金財政の安定に貢献し、国民の年金を守ることが求められている。
安倍政権は、年金積立金の株式運用比率を倍増させ、株価つり上げの道具にしている。
投機的運用をやめるべきと思うがどのような影響が出るかと考えるか。
住民課長 現在の年金制度は、賦課方式により世代間で支え合う仕組みとなっている。
高齢者と現役世代の割合により、大きく影響を受けるものと考えている。

入学準備金制度は入学前に

答弁／近隣市町村も同じく検討中

末藤 就学援助の基準を引き下げ、入学準備金は今まで5月、6月頃、支給していた。
少なくとも1月から2月に支援を出す自治体が多い。
学校教育課長 志免町も真剣に検討しなければなら

町長 今回の法改正について、地域に及ぼす影響は大きいものがあり、高齢世帯の消費の影響は大きいものがある。
しっかりと注視していきたい。



政府広報厚生労働省

第7回 議会報告会を

2月14日 町民センター視聴覚室



2月15日 シーメイトホール



No.	報告の質疑	答弁
1	・予算に対して、収入を上げるような政策を一つも聞かないので心配。	・税収を上げていくことは、議会も行政と一緒に議論しながら対応を行っている。チェック機関としての議会の役割をはたし税収を上げる。無駄をなくすことに努めている。
2	・災害発生時議員行動マニュアルについて、この議会災害マニュアルには、町内会という言葉が入っていないが。	・災害発生時議員行動マニュアルは、議員と議会が災害時にどう行動するのかというものを作った。
3	・議会軽視とのことで、議会審議の時に行政の提出資料が少ないと聞いたが本当か。	・何億円というお金を議会で、承認するかしないかという事に対する説明が1、2枚の資料では到底議会は承服しかねる。予算の撤回など厳しい対応を行っている。
4	・小中学校のエアコン設置について、相当財政負担がかかると思う。エアコンは10年しかもたない、10年で交換したら10年先同じような予算が要る。また過保護ではないかと思う。	・議会も同様な事は申し上げた。審議の過程で議員からいろいろな意見がだされた。
5	・学童保育の待機児童はどの程度いるのか。	・140名程です。 ※3月1日現在、3年生までは全員入れました。詳しくは本号P10
6	・学童保育の支援員不足をどう解消するのか。	・子育て支援・ハローワーク・シルバー人材センターなどに広く声をかける。
7	・保護者が運営することについてどう思うか。	・委員会の中でも審議している。
8	・今後志免町の財政状況は。	・1・2年の経過の中、議会も危機感をもって凝視している。
9	・空き家問題は今後どうなっているのか。	・行政に権限がありません。持ち主に解体の依頼をする。
10	・親が認知症で子供も障害者でお金の相談に乗ってほしい。	・委員会でも後押しします。福祉課に相談されては、いかがでしょうか。

開催しました 町内2会場 80人参加

第7回目となりました議会報告会。多くの方々にご参加いただき、ありがとうございました。2会場での質疑、意見、アンケートをとりまとめました。フリートークでの内容につきましては、次号の議会だよりで報告させていただきます。

はじめての参加でしたが、議員の方々は私達の要望を熱心に聞いてくださいました。聞き放しにならないよう、十分検討をお願いします。

80代

参加者で話し合う時間をもっと欲しい。ワールドカフェ方式でやれば良いのでは。テーマをしばって欲しい。総務文教・厚生建設分けてやったらどうか。

60代

町議会の内容は議会だよりを読んだだけでは分からない、生の声を聞く事が出来てとてもベんきょうになった。

60代

色んななやみ、活動されてる事のむずかしさを聞き、勉強させられる意見交換でした。

60代

フリートークの時間を主体に多くの時間取って長く機会も設けて欲しい。こういう機会の場合は貴重、継続を強く希望。議員の対応はすばらしい、今後その意見反映についての努力に期待するもの大である。全体質問の際にテーマに絞らず、質問できるようにしてほしい。

40代

関心のある問題を議員さんをまじえて話してみたかったけれど時間がなかった。

60代

皆さんの意見が聞けて良かったです。

60代

老人会として言いたい事を言いました。又このような機会を作って頂きたい。

80代

年に数回やってもらいたい。グラウンドゴルフの件、使用料の件再検討をして下さい。

70代

参加した方からの色々な意見が聞けて良かったです。昨年よりも町民の意見を聞こうとしていらっしゃるのが良く伝わりました。もっとよく伝えるようにするには、議会についての専門用語（例えば〇〇委員会）や行政・町民・議会の位置づけなどを解説すると議会や議員の役割を理解して上での意見が出やすいと思います。（議員さんに言ってもしかたない意見や、そもそも住民が自分でやればよいアイデアなどが聞かれたため）

30代

広く住民の意見がいろいろ聞くことができ、町の事を考え直すよい機会となりました。人数が少なく、町内会長をはじめ、公民館に強く呼びかけてほしいと思いました。

60代